

1 目的

以下の目的を達成するために、博物館法施行規則第1条及び第2条に規定する博物館実習を実施する。

- (1) 実習生を指導することによる博物館業務の基本の確認
- (2) 学芸員をはじめとする博物館に興味を持つ人材の育成
- (3) 実習を通じての登呂遺跡・登呂博物館の対外への周知拡大

2 実習期間

令和8年7月30日(木)～8月6日(木) 各日8時30分～17時15分 計7日間

※8月3日(月)は休館日

3 実習場所

静岡市立登呂博物館、登呂遺跡(静岡市駿河区登呂五丁目10番5号)

※実習期間中に他の場所で実習を行う場合がある。

4 受入人数

10名程度

5 受入条件

下記の必須条件をすべて満たすもの

必須条件

- (1) 学芸員資格の取得を目指している者で、大学等所属機関からの依頼を受けられる者
- (2) 原則として、実習に全日・全時間参加可能な者
- (3) 専攻分野・学年・年齢は問わない。ただし、当館が登呂遺跡を中心とした歴史(考古)系博物館であることを承知している者
- (4) 積極性を持ち、かつ勤勉な態度で実習に臨むことができる者

※申込者多数の場合、下記の条件に該当する申込者を優先して受入

優先条件

- ① 静岡市内の大学に通学、または静岡市在住・出身者
- ② 令和7年度の時点で大学または大学院の最終学年の者
- ③ 大学等で考古学を専攻する(した)者

6 受付方法

期間：**令和8年2月1日(日)～20日(金)**

方法：博物館ホームページの入力フォームから申込 ※募集要項は登呂博物館ホームページに掲載

7 提出書類

申込完了後、実習を希望する者は履歴書(登呂博物館が指定する様式を使用すること)を**申込期間内**に

静岡市立登呂博物館に提出する。

(1) 郵送（〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号 静岡市立登呂博物館 宛て）

(2) 持参（博物館の開館日の 9:00～16:30、登呂博物館 2 階事務室で受付）

※休館日…月曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日、年末年始（12/26-1/3）

(3) メール送付（torohaku@city.shizuoka.lg.jp 静岡市立登呂博物館実習担当者宛）

8 申込選考

令和 8 年 2 月 27 日（金）までに受入決定者に電話又はメールで連絡を行う。

受入決定者は大学等所属機関からの依頼文書を静岡市立登呂博物館に提出する。

※ 上記の書類を受領後、大学等機関に対して、承諾書（登呂博物館の様式）を送付する。実習生あてには、個別に承諾書を送付しない。

9 事前課題

「高校生・大学生をターゲットとする／高校生・大学生が主催するイベント案の検討」

登呂博物館の観覧者数を年代別に見てみると、高校生・大学生年代の利用者が少ないことが課題である（令和 6 年度の観覧者数は高校生・大学生：4.5％／小・中学生：37.4％／一般：58.1％）。この課題をもとに、高校生・大学生年代に登呂遺跡・登呂博物館に足を運んでもらえるようなイベント案、または高校生・大学生が主催となるイベント案を一つ作成すること。なお、イベント案については「登呂遺跡の価値や魅力を伝えること」を念頭に置いて組み立てることを求める。

作成した課題は実習初日の 7 月 30 日（木）に紙（A4 片面印刷、3 枚以下）で提出する。書式は不問。大学名、氏名を明記すること。

10 留意事項

- (1) 実習態度が不適切な学生は、受入を中止する。
- (2) 当館等への交通費、その他必要な経費は実習生の負担とする。
- (3) 実習期間中の災害傷害保険、賠償責任保険への加入は大学側で対応すること。
- (4) 実習に際し、謝金は不要。

11 実習内容（案）※変更あり

7/30（木） 一日目	概要説明 館内・遺跡見学 教育普及案発表
7/31（金） 二日目	設備見学 保存処理施設見学
8/1（土） 三日目	資料取扱・梱包実習 写真撮影実習
8/2（日） 四日目	体験イベント補助
8/3（月）	休館日
8/4（火） 五日目	芹沢銈介美術館見学 展示計画
8/5（水） 六日目	展示準備
8/6（木） 七日目	展示実習

12 問合わせ

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号

静岡市立登呂博物館 渡邊智大

☎ 054-285-0476

E-mail torohaku@city.shizuoka.lg.jp

履 歴 書

令和 年 月 日現在

写真

ふりがな	
氏 名	
昭和 平成	年 月 日生 (満 歳) 男・女
現住所 〒	
電話	E-mail
実習中連絡先 〒	
電話	

年	月	略歴（高校卒業以降,大学院修了見込まで）

専攻・研究課題
志望動機

備考

- ・「写真」は顔が明瞭にわかるものであればデジタル画像でも良い。
- ・「E-mail アドレス」は極力 PC のメールが望ましい（フリーメールでも可）。
- ・「実習中の連絡先」が現住所と同じ場合は、記入不要。
- ・パソコン等での記入が望ましい。手書きの場合は、容易に判読できるよう明瞭に記入すること。